

| | | | | | |
|--------|---|------------------------------------|-----------|-------|--------------------|
| 学校教育目標 | 「豊かな関わりの中で、ともに高め合い、未来をひらく富士見台」 【知】進んで学習に取り組み、自分の考えを深め、豊かに表現する力を育てます。 【徳】自他のよさを認め、感謝の気持ちや思いやりのある子を育てます。 【体】望ましい生活習慣や楽しく運動する習慣を身に付け、心身ともにたくましく生きる力を育てます。 【公】地域の人との関わりを大切に、地域や社会のために自ら実践する力を育てます。 【開】様々な人とのコミュニケーションを通して、多様性を認め、ともに生きていく力を育てます。 | | | | |
| | 創立 70 周年 児童生徒数: 586 人 | 学校長 山本 加奈代 主な関係校: 岩井原中学校 稲荷台小学校 | 副校長 岡田 大作 | 2 学期制 | 一般学級: 17 個別支援学級: 4 |

| | | |
|----------------------------|-----------------------------|---|
| 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 | 岩井原中 ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
| 〈問題発見・解決能力〉 〈自己実現力〉 | 岩井原中学校 稲荷台小学校 富士見台小学校 | 自尊感情を育み、高めていく子ども ・自分のよさを発見し、よりよい自分になるようとする気持ちを育てる。 ・横浜子ども会議で話し合ったことを全校で実践し、日常生活にいかしていく。 ・運動会、児童生徒交流会、ミュージックフェスタ、作品展を通して、児童生徒の交流を図り、互いのよさに気付く。 ・ブロック内の研究会等を通して、課題解決を図り、各教科の系統性を理解する。 |

| | |
|--------|--|
| 中期取組目標 | ○子ども一人ひとりの考えを大切にしながら、課題解決の学びを充実させます。 ・1年目は、興味をもって取り組み、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ・2年目は、問題を発見し課題解決に向けて自分の考えを表現し、伝え合う力を育てます。 ・3年目は、自分の考えを伝え合うことを通して、よりよい解決方法を見つける力を育てます。 ○規則正しい生活を心がけ、心も体も健康な学校生活が送れるようにします。 ○地域や保護者とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・3年間を通して、自分も他の人も大切に、安心して学校生活が送れるようにします。 |
|--------|--|

| 重点取組分野 | 具体的取組 | | | | |
|---|----------------|----------|----|----------------|---|
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>重点研推進委員会</td> </tr> </table> | 知 | 授業改善 | 担当 | 重点研推進委員会 | ①子どもが主体的に学習に取り組めるような導入や課題設定の時間を充実させた指導計画を立てる。②問題解決的な学習を定着させるために、教科の内容に合わせて具体物操作や体験を取り入れたり、ICT機器を活用したりしながら、互いに認め合い学び合う場を設定する。 |
| 知 | 授業改善 | | | | |
| 担当 | 重点研推進委員会 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>道徳教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>道徳部</td> </tr> </table> | 徳 | 道徳教育 | 担当 | 道徳部 | ①学級や学年での様々な活動を基盤としながら、ペア活動をはじめとした他学年との交流の充実を図り、自他を大切にする気持ちや自己有用感を育成する。②あいさつに力を入れ、自らあいさつする良さを実感できるようにする。③保護者や知己の方々の思いを知り、地域を意識した活動を展開し、人の役に立つ喜びを味わえるようにする。 |
| 徳 | 道徳教育 | | | | |
| 担当 | 道徳部 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>健やかな体実行委員会</td> </tr> </table> | 体 | 健康教育 | 担当 | 健やかな体実行委員会 | ①体育科では、密を避けるためにルールや場を工夫して実施する。また、ラダーなどを設置して体を動かしたり、ロコモティブシンドローム予防体操を取り入れたりして体力アップを目指す。②食育や保健学習がより深められるために、給食時に動画を流すことや、感染症予防の啓発を促す。 |
| 体 | 健康教育 | | | | |
| 担当 | 健やかな体実行委員会 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公</td> <td>地域学校協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部、安全部</td> </tr> </table> | 公 | 地域学校協働活動 | 担当 | 教務部、安全部 | ①地域や保護者と連携しながら、より良い教育活動を展開し、学校教育目標や中期取組目標の実現のために、魅力ある学校づくりを行う。②学校だよりやHP、メール配信、様々な行事を通して情報発信を年間を通して行い、教育活動への理解と協力、支援をいただく。 |
| 公 | 地域学校協働活動 | | | | |
| 担当 | 教務部、安全部 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table> | いじめへの対応 | | 担当 | いじめ防止対策委員会 | ①いじめ防止対策委員会の定期開催、実践的な校内研修の実施を行い実効性のある指導体制の確立する。②全ての児童へいじめを許さない指導を行う③複数の目が届く学年経営、年複数回のアンケートにより早期発見・早期対応に努める。④家庭との連携を行い、いじめを受けた子のケアを含めて対応を進める。 |
| いじめへの対応 | | | | | |
| 担当 | いじめ防止対策委員会 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部・メンターチーム</td> </tr> </table> | 人材育成・組織運営(働き方) | | 担当 | 教務部・メンターチーム | ①働きやすい環境づくりを目指して、職員の考えや要望を取り入れながら職員室レイアウトを継続して進めていく。②人材育成については、全教職員が各々のキャリアステージに応じた年間の具体的な目標を設定し、前期と後期で達成度を見える化する。メンターチームはメンティーの必要感に応じて、メンターを助言者として、教師力の底上げを図り、より強固な職員集団を目指す。 |
| 人材育成・組織運営(働き方) | | | | | |
| 担当 | 教務部・メンターチーム | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">児童生徒指導</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導、特別支援推進委員会</td> </tr> </table> | 児童生徒指導 | | 担当 | 児童指導、特別支援推進委員会 | ①児童への理解と共感を大切に、日常の様子を観察や計画的なアンケート、横浜プログラムの実施により、児童の実態を把握し、適切な指導を行う。②児童の問題を担任一人が抱え込まず、学年や学校全体で情報共有し、適切で迅速な対応をしていく。学校カウンセラー、関係諸機関との連携を密にし、よりよい対応を行う。 |
| 児童生徒指導 | | | | | |
| 担当 | 児童指導、特別支援推進委員会 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">自分づくり(キャリア教育)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生活総合部、特活部</td> </tr> </table> | 自分づくり(キャリア教育) | | 担当 | 生活総合部、特活部 | ①生活科、総合的な学習の時間を中心に、自分で考えて試行錯誤し、失敗や体験から学ぶ姿勢や粘り強く取り組むよさや意義を実感できるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、めあてに向かって取り組んだり活動を振り返ったりしながら、よりよい自分になるようにしていく。 |
| 自分づくり(キャリア教育) | | | | | |
| 担当 | 生活総合部、特活部 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">情報教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>情報推進委員会</td> </tr> </table> | 情報教育 | | 担当 | 情報推進委員会 | ①児童が自らICT機器の効果的な選択・活用ができるように、ICT機器を利用した学習方法を取り入れる。②児童がICTを適切・安全に使いこなすことができるよう、ネットリテラシーなどの情報活用能力を育成させ、ICTが日常のものとなるように基盤作りを行う。 |
| 情報教育 | | | | | |
| 担当 | 情報推進委員会 | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導、特別支援推進委員会</td> </tr> </table> | 特別支援教育 | | 担当 | 児童指導、特別支援推進委員会 | ①児童一人ひとりの特性をとらえ、普段の授業から自己肯定感を高めるような指導を継続する。②児童理解や特別支援教育の研修を実施し、関係諸機関と連携を図り、保護者と共に担任、学年、児童支援専任、特別支援コーディネーター、管理職がチームとなって解決に向けて取り組む。 |
| 特別支援教育 | | | | | |
| 担当 | 児童指導、特別支援推進委員会 | | | | |